

## <白金標準先物、3617円を再度模索する値動きに注意>



(出所：オアシス)

中国政府の教育関連テクノロジー業界に対する包括的規制強化の動きが、他企業に波紋する懸念が高まり見せている。また中国の経済指標の低下に伴い景気の頭落ちなど、白金需要に悪影響を与える可能性が高く、白金標準先物は週末には一時 3700 円を下回り 3685 円まで下値を試している。

また中国政府は、環境汚染の削減のため鉄鉱石の生産や海外販売を削減しており、それに伴い鉄鉱石の価格が 2 週間で 15% 近く反落している。

特に 7 月 19 日～21 日の 3 日間で個人投資家の白金取組みでは、4837 枚買い越し全体で 12531 枚の買い越しとなるなど高値取り組みの弊害が出ている状況である。そのため目先整理商いの動きに 6 月 21 日に付けた安値 3617 円を再度試す値動きには注意が必要と思われます。

(2021 年 8 月 1 日記載)

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD で見た場合は、MACD がシグナルを下回った後は、MACD とシグナルが下げており、MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムも拡大を示すなど、弱気の基調を示す動きを見せている。また移動平均線でも 200 日移動平均線を日足が下回りながら、10 日移動平均線は下げるなど、弱気を示すチャートパターンに思える。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 583962 (前週比-1678)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 75.07 (前週比+0.02)